

米 まい あいら 2008 NO96
 太田屋 OOTAYA 太田屋 OOTAYA 太田屋 OOTAYA 太田屋 OOTAYA
 三月 <http://ootaya.jp>

米作り始動



今年も美味しいお米を作るために、最高級の有機肥料（ヌカ）まきが始まりました。今年は13丁（3万9千坪・約東京ドーム3個分）の広さに、約20トンのヌカをまく予定です。この面積で約1100俵（66000kg）の収穫を予定しています。

どのようなお米を美味しいと感じるか

ご飯の粘りと味

お米の味は、ご飯の粘りと大きく関係します。日本人は、ご飯は粘りが強いほどおいしいと感じ、逆に粘りが少ないパサパサしたご飯はおいしいと感じません。

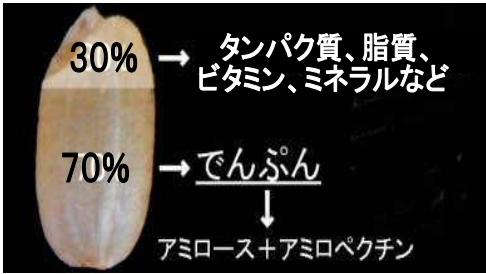
ご飯の粘りは、お米に70%含まれる「デンプン」で決まります。このデンプンにはアミロースとアミロペクチンの2種類あります。アミロースの割合が少ないと粘りが強いご飯になり、逆にアミロースの割合が多いと粘りが少ないご飯になります。

一般的なお米のアミロースは17~23パーセント前後含まれています。粘りがとても強いもち米はアミロースの割合は0%です。

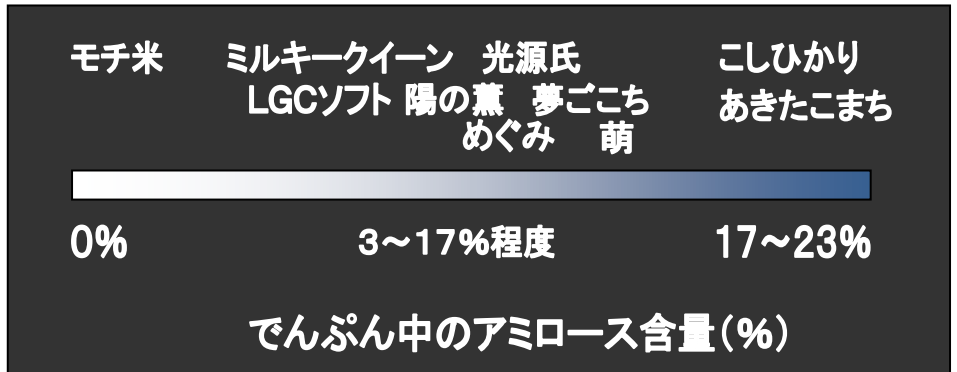
冷めても美味しい低アミロース米 （こしひかりの進化形）

低アミロース米とは、もち米とうるち米の間のお米です。アミロース含量が3~17%程度で、普通のお米よりもアミロース含量が低くなっています。このため低アミロース米は、普通のうるち米より、よくねばり、つやつやして柔らかくておいしいご飯になります。

また、炊飯米は冷めても硬くなりにくい特徴があり、お弁当やお



にぎりなどには最敵です。冷凍したものをレンジでチンするとさらに粘りがますますです。あのイチロー選手は、「夢ごこち」を取り寄せて食べているそうです。



美味しいお米の専門店
(株)太田屋
 日本スローフード協会会員

営業時間 10:00~19:00
 定休日 月曜日
 配達日 火・木・土曜日
 TEL 247-3366
 メール kome-ootaya@nifty.com
 ホームページ ootaya.jp

戦後最大の農政改革でも 自給率向上は“見果てぬ夢”

止まらぬ農業の衰退

中国の毒餃子問題で決まってコメントされるのは「自給率の向上」。・・・言うは易し！！

農家戸数、農業人口共に減少の一途をたどっています。

2005年の「耕作放棄地」は、2000年より13%増加し38万平方メートル。琵琶湖5.7個分、耕地面積の8%にまで達しており、今も増加中です。

事実、私の田舎でも毎年、農家をやめる人が後を絶ちません。農家のあととりは、家を出、農家を継ぐ人はだれもいません。60～80代の方がほとんどです。50代後半の「若手後継者・・・???」は各部落に1人いるかいないかです。

半世紀農業とじかに接し、まじかで見してきました。

・・・!!!!!!・・・寂しいけれどこれが現実です。

生産意欲をなくし、後継者がいなくなってしまう今、自給率を上げることは容易なことではありません。

高コストで高リスクの 日本人の食卓

自給率の低さは、食料の海外依存度の高さである。日本人の食は、コメと魚と野菜中心の食事から、肉と油脂を多めにする食事に変化してきました。その結果、畜産物と油脂の消費量は2倍以上にふくらみ自給率の低下をもたらしています。

重要なのは、今の食生活を見直すことです。そして、今の食生活がいかに高コストで維持され、高リスクに晒されているかを自覚することです。

たとえば、牛肉1kgを生産するのに、日本の飼育方法だと穀物が11kg必要になる。穀物が11kgあれば、おとな18人が生きられます。

フードマイレージという言葉があります。食料の輸入量と、輸入相手国との距離を乗じた数値です。日本は9千億t・kmと、世界のどの国よりも高い。それだけ多くの食料を、遠い国からかき集めているのです。輸送する飛行機や船、トラックはにCO2をまき散らしています。「輸入小麦の食パン1斤で、クールビズ2日分のCO2削減量が台無しになります。」

高コスト・高リスク化する日本の食卓

畜産物肥育

畜産物1kgの生産に要する穀物量



トウモロコシ1kgは約3500KCal。11kgあれば18人が1日生きられる

世界の家畜用飼料の10%を飢餓地域に回せば、世界の飢餓問題は解決する！

日本における飼養方法を基にしたトウモロコシ換算

フードマイレージ

食料の輸入量と、輸入相手国との距離を乗じたもの

日本	9002億 t・Km (7093)
韓国	3137億 t・Km (6637)
米国	2958億 t・Km (1051)
英国	1879億 t・Km (3195)
ドイツ	1717億 t・Km (2090)
フランス	1044億 t・Km (1738)

CO2の排出量

飛行機
1t・km当たり
799g



トラック
1t・km当たり
98.6g



船舶
1t・km当たり
13g



()内は国民1人当たり。